

大規模サンゴ移植の実施について

那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所 ◎照屋 雅彦
○伊良波 憲

１．概 要

１－１．目 的

中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業は、貴重種であるトカゲハゼ生息地を含む小鳥類も多い沿岸干潟域の保全、やや沖合域における比較的良好なサンゴ群集の保全、並びにこれに伴う人工島方式での適正な海水流動を勘案して埋立地の位置、形状を決定している。

サンゴに関しては、やむを得ず一部は消失するが、沖合いの被度10～40%の区域については回避する措置を取った。また、免許取得時においても特段の意見がないことから埋立事業者としては、サンゴに関する特別な措置は考慮していなかった。

しかし、埋立予定地内のサンゴについて、環境学習や保全の観点から移植したいとの地元意向があり、大規模なサンゴ移植を実施した。その経過について報告するものである。

１－２．内 容

サンゴ移植は、沖縄市やNPOが主体となり実施した。本件は平成20年度に沖縄市の提案により、沖縄総合事務局、沖縄県が協力するに止まらず、サンゴ保全の趣旨に賛同したNPO、企業等が加わり実現した。市民参加型のサンゴ移植事業で、これまでに類（事例）のない取り組みである。平成20年10月には2日間に渡り、約2トンのサンゴを移植した。更に平成21年6月には、NPOが主体となり平成20年度同様、約2トンの移植を実施した。

１－３．結 論

当初は行政の呼びかけで始まった取り組みであるが、平成21年度はNPOの提案で移植が実施された。本取り組みは、市民発信型による行政と連携が図れたモデルケースである。移植されたサンゴは、現在、良好に生育しており、今後は産卵が期待される。

１－４．今後の課題

(1) 移植サンゴのモニタリングやフォローアップ

(2) 移植したサンゴの産卵

２．展示規模・イメージ

２－１．展示物（A1版：縦）

- １）サンゴ移植概要・・・・・・・・・・・・・1枚
- ２）サンゴ移植計画・・・・・・・・・・・・・1枚
- ３）サンゴ移植実施状況・・・・・・・・・・・・・1枚
- ４）今後の課題・・・・・・・・・・・・・1枚
- その他）中城湾港航空写真（A1版 横）

２－２．配布資料

中城湾港泡瀬地区人工島環境監視レポート